

切りくずで“目立て”を確認

「ちば里山カレッジ」フォローアップ研修
(平成 28 年度県民の環境活動支援事業)

6 月 26 日
(日)、千葉県
緑化推進拠点



施設で里山カレッジフォローアップ研修として「チェーンソーの点検整備・目立て」講座が開かれました。千葉県森林組合南部支所の木村正敏氏を講師に迎え、県内各地の里山団体で活動する受講生 40 名が集まりました。

木村講師は、チェーンソーの重大事故は、慣れ、思い込み、うっかりミスなどのヒューマンエラーに原因が求められることを示し、労働災害防止のための規程の改正により、チェーンソーを扱う際には防護具着用が義務化されたことを説明しました。

チェーンソー点検整備実習(写真④)は、千葉県緑化推進拠点施設内のフィールドを使って行われ、まず、機種によって部品のつき方に違いがあることを確かめたあと、目立て作業を行いました。そして、目立てと清掃を終えるとさっそく試し切り。切りくずが気持ちよく飛び散りました(写真⑤)。



チェーンソーのメンテナンスは、初めての人にとっても熟練者にとっても共通する基本事項であり、熱心に確認作業が行われました。

講習後、受講生の活躍する里山活動団体のうち、NPO 法人ちば森づくりの会、NPO 法人ハナノモリ、里山フォース会、椎の森里山会等から活動状況や近況の報告があり、研修会を終了しました。

刈払機のメンテナンス・安全作業

21 名に特別教育修了証授与

ちば里山センター主催の平成 28 年度第 1 回目の安全講習会が、4 月 24 日(日)に袖ヶ浦市鹿島区公民館を会場にして行われました。千葉県森林組合南部支所の木村正敏講師(写真⑥)の指導のもと、刈払



機のメンテナンスの仕方、安全な作業の手順、事故が起き

た時の対処法等、5 時間の学科と 1 時間の実技講習が行われました(写真⑥)。

日曜日の開催ということで、地元の袖ヶ浦市からの参加者のほか、千葉市や船橋市、勝浦市、東京都等から 21 名の参加がありました。受講生には特別教育修了証が各自に交付されました。

参加者の一人は、「今回は、日曜日の開催ということで参加することができ、有意義でした。」と感想を述べました。



ちば里山カレッジフォローアップ研修

次回(第 2 回)日程

◆日時：9 月 4 日(日)9 時～17 時 (詳しくはちば里山センターHP をご覧下さい。http://www.chiba-satoyama.net)

◆会場：千葉県緑化推進拠点施設 (長浦・ちば里山センター)

◆内容：竹炭・竹パウダー製造、里山活動に役立つロープワーク

★第 3 回は 10 月下旬、第 4 回は 11 月予定です。決まり次第 HP にてお知らせします。